

めいもく 公共施設!

5分で読める
公共施設のこと

公共施設マネジメントシリーズ

問い合わせ

企画政策課 内線224



No.9 「行政コスト」「使用料」「持続可能な施設」のお話

01 行政コスト～施設の維持のためにいくらかかっているの?～

突然ですが質問!

Q1 各地区コミュニティセンター(全6か所)を維持するのに年間いくらかかっているのでしょうか?

A 年間約3,435万円

令和元年度の決算によると、各地区コミュニティセンターを維持するためには、年間3,435万2,007円(人件費を除く)がかかりました。

このお金は、利用者からの使用料や住民の皆さんが納める税金から支払われています。



Q2 では、住民の皆さんはいくら負担していることになるのでしょうか?

A 1人あたり約685円

各地区コミュニティ
センターの維持管理費

34,352,007円

50,154人

令和2年
3月末日時点の人口



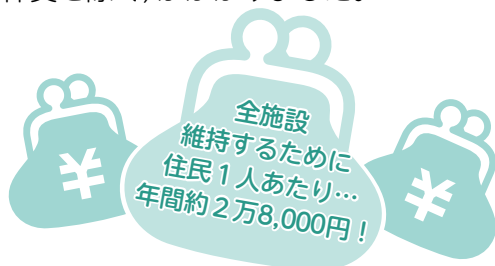
= 約685円

限られた財源で維持管理するためには、維持管理の費用を削減すればよいと思うかもしれませんが、費用を削減したために安心・安全に使用できなくなったり、将来的に維持ができなくなったりするのでは意味がありません。

Q3 全部の施設を維持するためにはいくらかかっているのでしょうか?

A 年間約14億1,000万円

東浦町公共施設等総合管理計画の対象になっている施設は、62施設あります。令和元年度の決算によると、町内すべての施設を維持するためには、年間約14億1,000万円(人件費を除く)がかかりました。



ご意見やご提案をください!

皆さんの声を施設マネジメントの参考にします。

公共施設の抱える問題を住民の皆さんに知ってほしいという思いから、令和2年10月より公共施設マネジメントシリーズとして連載してきました。「この施設とこの施設を組み合わせたらどうか」「あの施設をこんなふうを活用したらどうか」といったご意見やご提案がありましたらお寄せください!

※いただいたご意見などへは、個別の回答はいたしません。今後、施設マネジメントの参考とさせていただきます。



みつけてみよう！

各施設で1年間にどのくらいのお金がかかったかを
知ってもらうために、各施設に『行政コスト表示板』を掲
示しています。また、町ホームページにも掲載しています。

行政コスト



令和元年度 各施設の維持にかかった費用

No.	施設名	維持管理費 ^{※1}	住民1人あたり ^{※2}
1	総合ボランティアセンター(なないろ)	1,406万円	280円
2	役場庁舎	8,687万円	1,732円
3	消防団詰所(全6か所)	84万円	17円
4	防災倉庫(全3か所)	4万円	1円
5	福祉センター	1,959万円	391円
6	老人憩の家(全7か所)・東ヶ丘交流館	3,728万円	743円
7	保育園(全8か所)	8,551万円	1,705円
8	児童館(全7か所)	4,257万円	849円
9	総合子育て支援センター(うららん)	504万円	101円
10	なかよし学園	566万円	113円
11	保健センター	307万円	61円
12	勤労福祉会館	1,841万円	367円
13	公営住宅	35万円	7円

No.	施設名	維持管理費 ^{※1}	住民1人あたり ^{※2}
14	小学校(全7か所)	4億8,963万円	9,763円
15	中学校(全3か所)	2億3,354万円	4,656円
16	文化センター	1,474万円	294円
17	各地区コミュニティセンター(全6か所)	3,435万円	685円
18	郷土資料館(うのはな館)	656万円	131円
19	中央図書館	2,122万円	423円
20	体育館・はなのき会館	1,762万円	351円
21	ふれあいセンター(全3か所)	1,661万円	331円
22	学校給食センター	2億5,728万円	5,130円
合計		14億1,084万円	28,131円

※1 光熱水費・修繕費・委託業務費・工事費など(千円単位四捨五入)

※2 令和2年3月末時点の人口(50,154人)で計算

02 より身近に考えてみよう！—施設の使用料—

各地区にあるコミュニティセンターの使用料を例に
考えてみます。各地区コミュニティセンターで令和元年度
にかかった維持管理費の合計は3,435万2,007円(人
件費を除く)。これに対して、使用料の収入は合計307
万7,120円。では、使用料の収入で維持管理費を賄うと
した場合、どの程度が賄えるのでしょうか。

使用料の収入

3,077,120円

34,352,007円

維持管理費

= 約9%

皆さんなんと！
残り約91%は皆
さんの税金から支
払われている！

03 安心・安全で持続可能な施設を使用し続けていくためには…

安心・安全に施設を使用し続けていくためには適正
な維持管理を行う必要があり、それには費用がかかります。
しかし、人口減少などで税収が減ることが予想され、
税金で賄うことが難しくなります。東浦町公共施設等総
合管理計画では、「今」ある施設を「同じ姿のまま」で維持
しようとする、年間約7億5,000万円が不足すると試

算しました。

これからは財源に見合った維持管理ができるよう、使
用料の見直しの検討を行い、税金の負担を減らすことや
利用頻度の低い施設について、統廃合や複合化により維
持管理面積を縮減するなど、様々な取組みを組み合わせ
ることが必要です。



公共施設の維持管理にどれくらいのお金がかか
っているのか知るとともに、費用対効果を意識しな
がら統廃合などを考えていきましょう。



施設の使用料は、行政と住民の皆さん、利用者と
非利用者との負担割合を考え、将来に渡って持続
可能な料金のあり方を考えていくことも必要です。